

児童福祉施設は主に太平洋戦争による貧困や戦災による孤児の受け入れ施設として出発しました。戦後70年以上を経た現在の豊かな平和な社会の中でも格



神奈川県児童福祉文化体育協会会長 田崎 吾郎

支援に感謝しつつ ひと夏の思い出を

子どもは、むしろ増える傾向にあります。このような現状の中で、スポーツによる施設間の交流を通して、児童の健全な育成とともに職員の間識向上を図りたいという私たちの取り組みにご理解をいただき、後援して下さる個人や企業の皆さまに、あらためて深く感謝申し上げます。

施設で暮らす子どもたちにとって、目標を持ち仲間たちと切磋琢磨する経験はとても貴重なものです。大会に向けた楽しさ、練習の中で、我慢するべきや最後まであきらめないこと、そして仲間との絆を築くことなどを学び、日に日に成長する子どもたちは輝いています。

差の拡大や少子高齢化、核家族化など社会構造の変化による家族関係の脆弱化、虐待など今日的な問題から、親がいるにもかかわらず児童福祉施設で生活する

大会を支えてくれる方々に感謝しながら、思う存分ダイヤモンドを駆け回り、仲間たちと忘れられない最高の思い出をつくってほしいと思います。

県児童福祉施設 野球・ソフトボール大会

企画・制作＝神奈川新聞社クロスメディア営業局



県内の児童福祉施設などで生活している児童たちによる「第57回野球大会」と「第54回ソフトボール大会」が、7日から3日間、サテーターフォート保土ヶ谷球場で開催される。野球13チーム、ソフトボール12チームがそれぞれの頂点を目指す。

県児童福祉施設野球大会は、さまざまな事情から児童福祉施設（児童養護施設、児童自立支援施設）で生活している子どもたちが、体育活動により健全な精神と身体の発達を図ること、施設児童間の交流を通して児童の育成・向上を図ることを目的として、1961（昭和36）年、施設責任者で組織する、県児童福祉文化体育協会の主催で始まった。同ソフトボール大会は3年後の64（昭和39）年から、ともに半世紀を超える歴史を持つ大会。チーム編成は、野球の場合は男女の小・中学生、ソフトボールは女子小・中学生のほか高校生1人、小学5年生以下の男子3人までの出場も認められている。それぞれ制約のある環境の中、周囲の理解と協力を得ながら真っ黒に日焼けして磨いてきた技術を、憧れの保土ヶ谷球場でぶつけ合う。



磨いた技で 頂点目指せ

全国共済ら支える 協会の多彩な行事

県児童福祉文化体育協会は、野球・ソフトボールのほか、水泳・卓球・駅伝、合計五つの大会を開催。卓球は6月に大会を終え、水泳は今月下旬、駅伝は秋に予定されている。スポーツ大会のほかには、演劇・舞踊などを発表するあすなろ交歓会、絵画・書・手芸・工芸などを集めたあすなろ児童作品展も開催している。これらの行事は多くの団体から支援されている。全国共済（横浜市中区常盤町1、関根理事長）は野球・ソフトボール大会の優秀チームに金・銀・銅メダルなどを提供する。

このほか、県内のパチンコ店経営者たちで組織している県遊技場協同組合（横浜市神奈川区鶴屋町、伊坂重憲理事長）と同組合の福祉活動団体・神奈川福祉事業協会（同、伊坂重憲会長）から野球道具の寄贈を受けたり、横浜フューチャーズ野球倶楽部と横浜市ソフトボール協会からボランティアの審判を提供してもらったり、さまざまな協力を得て大会は運営されている。

昨年の思い出 「あすなろ」 第55号から



野球から学んだ三つのこと

中1年生 おおいそ学園

僕は、学園にきて野球を始めました。最初はあまり興味がわかなかなくて、あまり好きではありませんでした。練習もきついし、暑いし、返事やあいさつで怒られるし、「もう嫌だな」と正直思いました。でも、ある二人の職員に「一生懸命やれば上手くなるから、真剣に取り組んだ方がいいよ」「練習を繰り返して、気持ちを前向きにしよう」と言われ、気持ちを前向きにすることができました。あきらめたくないから、筋トレやソック練習などに取り組みました。

野球を通して、「あきらめない心」「つまり」「根性」。二つ目には、監督やチームの人たちへ何か言われたときの「返事やあいさつ」。三つ目は「礼儀」。先輩や大人に敬語を使うことを学びました。学園を出てからも、このことをいろんな場面面で活かしてがんばりたいと思います。

がんばったソフトボール

小4年生 春光学園

わたしは一年生の時にソフトボールを始める前に、なんどかの投げ方とは思いましたが、でも、みんなからさそわれて、一年生でもできるんだと思いました。

それから四年たて、一年生とさよりうまくなったと思いました。れんじゅうを始め、試合が近づいてくると、かんとくから「うまくなったね」と言われて、とてもうれしかったです。

あいではわたしはレギュラーではなかったのですが、コーチをやっている、おうえんにむちゅうになつていたら、「おうえんしているはだめだよ」と言われました。これからは気を付けようと思いました。今も春光学園のソフトボール部に入つてれんじゅうしていますが、みんなから「今度はキャッチャーをやりたいよ」と言われました。そう言われて、わたしはむねがドキドキしました。

わたしがこのことを書くころに、たぎっかけは、春光学園のみんなが、やさしく声をかけてもらって勇気をもつたからです。今は春光学園のソフトボール部も友達もふえてきましたので、これからがんばってれんじゅうしたいと思っています。

子どもは、むしろ増える傾向にあります。このような現状の中で、スポーツによる施設間の交流を通して、児童の健全な育成とともに職員の間識向上を図りたいという私たちの取り組みにご理解をいただき、後援して下さる個人や企業の皆さまに、あらためて深く感謝申し上げます。

スポーツを通して 仲間との絆を育む

全国共済理事長 上関 康樹

「全国共済」は「非営利主義」「最大奉仕・人道主義」の事業哲学のもと神奈川県を中心に共済事業を展開して今年34年目を迎えました。その理念の実践として、

庭などの弱い立場の子どもたちの応援、より力を入れていきたいと考えています。あこがれの保土ヶ谷球場で行われる大会に向け、真っ黒になって磨いてきた技術を發揮して戦う試合を通して、同じ目標に向かって努力してきた他の施設の仲間たちとの絆も育てていきたいと思います。

野球組み合わせ		ソフトボール組み合わせ	
優勝	3位	優勝	3位
1日目	2日目	1日目	2日目
3日目		3日目	

過去5年の優勝チーム	野球	ソフトボール
2012年	52回 横浜市向陽学園	49回 川崎愛児園
2013年	53回 横浜市向陽学園	50回 横浜家庭学園
2014年	54回 聖園子供の家	51回 横浜家庭学園
2015年	55回 春光学園	52回 日本水上学園
2016年	56回 箱根恵明学園	53回 横浜家庭学園